



今注目の楽譜 & 音楽雑貨



どんどん・どんぐり・おとあてゲーム1

サーベル社 1,320円(税込) / CD付1,980円(税込)
遠藤蓉子著



小さい頃から「よく聴く」ということをトレーニングする為に音感をゲームの形で楽しく身につける音感トレーニングのテキスト。音感だけでなく、リズムやその他の様々な音楽の要素を交えながら進行。「CDつき」と「CDなし」があります。

【著者関連商品】
どんぐりワーク・ブック2
サーベル社 1,045円(税込)
遠藤蓉子著



ONTOMO MOOK 子どもに教える 楽典

音楽之友社 1,540円(税込) ムジカノヴァ編



『ムジカノヴァ』2019年3月号～2021年7月の連載記事を再構成。「入会2年で音大入試問題が解けるようになる!」あやか先生の「楽典ドリル(永瀬礼佳)」「これだけは押さえておきたい楽典用語30(湯浅玲子)」「終止形/非和声音/調号&臨時記号/強弱記号(西尾洋、北村智恵)」「おもしろ楽典講座(高橋千佳子)」



【関連商品】ジュニア楽典
音楽之友社 2,035円(税込) 山下薫子著
子ども向け楽典の決定版。

はじめようピアノ

小さな手の生徒にも無理のないよう配慮した課題曲に、先生用の簡単な伴奏譜が付き、同時に合わせる楽しさも感じられる入門テキスト。



はじめようピアノ ワーク・ブック

テキストで学習する各項目ごとの課題を復習・定着させるための、音符や音楽記号などの「読み方・書き方」、「リズムれんしゅう」をまとめた「ワークブック」。



デプロMP 各1,100円(税込) 内藤雅子著

マスネ ピアノ小品集

全音楽譜出版社 1,540円(税込)
「タイスの瞑想曲」で有名なジュール・マスネは、フランス・オペラ界で人気の作曲家だが、サロン風の瀟洒で魅力的なメロディーをもつピアノ曲も数多く作曲。その中から現在でも好まれるピアノ作品を10曲収載。



【関連商品】

マスネ 4手連弾のための〈3つの小品〉作品11
全音楽譜出版社 1,320円(税込)
角野裕校訂・解説
1867年作の〈3つの小品〉は、やさしめの初中級の技術で演奏できる、4手のために書かれた魅力ある連弾曲。



日本のソナチネNew Edition

音楽之友社
2,970円(税込)
花岡千春校訂・解説

なかなか入手することが難しい、日本人作曲家によるソナチネ集。校訂、解説、運指、ペダルは国立音楽大学教授の花岡千春氏によるもの。



【関連商品】 日本の変奏曲New Edition

音楽之友社 2,750円(税込)
花岡千春校訂・運指・解説
楽譜は自筆譜、初版などの資料をできる限り参照し校訂を行い、運指・ペダルは作曲者の意図を損ねないように付加。信時潔の2作品は日本初出版。



Piano Lesson 88

月謝袋と出席カード、レッスンノートのデザインを揃えてフレッシュな年度スタートを♪

プリマミュージックの月謝袋・出席カード・レッスンノートは、少し大人っぽいお洒落なデザインが多く、書き込みもしやすいように工夫されています。更に男の子向けに乗り物や、生き物などの柄も多数採用。また、各種同じイラスト柄の商品がたくさん発売されているので、デザインを揃えることも可能です。新年度は素敵な柄を揃えて、フレッシュな気持ちでレッスンをスタートさせてみませんか♪

【ピアノと窓】



月謝袋 (PRFG-452) 出席カード (PRFG-052)

【ことり】

出席カード (PRFG-032)



月謝袋 (PRFG-432)

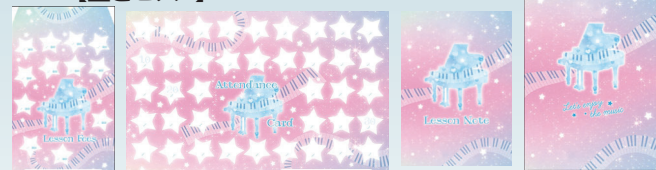
レッスンノート (PRFG-317)

【ピアノ (ブラック&ブルー)】



月謝袋 (PRFG-465)

【星とピアノ】



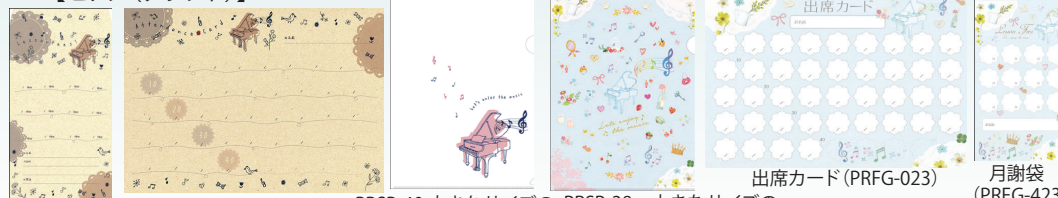
月謝袋 (PRFG-478) 出席カード (PRFG-078)

レッスンノート PRSP-39

(PRFG-337) (大型クリアファイル)
大きなサイズの星とピアノファイル

月謝袋 (PRFG-418) 月謝袋 (PRFG-491) 月謝袋 (PRFG-492)

【ピアノ (クラフト)】



月謝袋 (PRFG-468) 出席カード (PRFG-068)

PRSP-40 大きなサイズのピアノ(クリア)ファイル
PRSP-38 大きなサイズのピアノ(ブルー)ファイル

月謝袋 (PRFG-423)

Piano Lesson 88編集部：株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8
TEL 03-3666-2221 (担当：笹沼・川中)

バックナンバーをプリマ楽器ウェブサイトでご覧いただけます!

閲覧・ダウンロードはこちら

プリマ楽器 検索

<http://www.prima-gakki.co.jp/news88/>

フンメル博士からの助言

[シリーズ2] ピアノ・ピアニスト・ピアノ音楽 第34回

ピアノレッスン88の読者の皆様、こんにちは。いよいよ今月号から今まで紙面に登場していた18世紀のピアニストを順番にご紹介していきます。まず一人目は、このシリーズで助言をしているフンメル博士こと、ヨハン・ネポムーク・フンメルです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。 岳本恭治

■ヨハン・ネポムーク・フンメル
Johann Nepomuk Hummel
1778年-1837年（現スロヴァキア-ドイツ）

*生い立ち
ショパンによって「モーツァルト、ベートーヴェンそしてフンメルのような偉大な音楽家」と絶賛されたフンメルは、1778年に現スロヴァキア共和国の首都ブラティスラヴァで生まれました。モーツァルトはその才能を認め、ウィーンのグロッツェ・シュレーン通りの自宅に住ませ、8歳の1786年から2年間レッスンを行いました。その後父と共にヨーロッパ演奏旅行を行い、神童の名を欲しいままにし、モーツァルトに「この子はラファエロのようなピアニストになるだろう」と絶賛されました、またクレメンティやハイドンにも師事しました。1804年からハイドンの後任としてエステルハーツィ侯爵家、1816年からシュトゥットガルト、1819年から亡くなる1837年までワイマールで活躍し、いずれも宮廷楽長として歴任しました。フンメルは、ウィーン式のピアノに精通した大ピアニストでした。（ちなみに現代のピアノはイギリス式のピアノです。）

*ベートーヴェンvsフンメル
ウィーンの聴衆はベートーヴェン派とフンメル派の真っ二つに分かれ、それぞれを非難合っていました。フンメル派が、ベートーヴェンのことを「うるさくて不自然、ダンパー・ペダルを使いすぎる、汚く混乱している」と悪口を言うと、ベートーヴェン派は、フンメルのことを「く手回しオルガン」のように単調で、手のフォームが蜘蛛のようだ」とバカにしました。しかしながら、なんとベートーヴェンの筆頭弟子

のチェルニーは、「新しく目も眩むような技巧、明瞭で優美、心に訴えかける表現力、とても趣味の良い即興演奏」と賛美し、フンメルのレッスンを受けました。フンメルとベートーヴェンは、様々な誤解から仲たがいがいし、仲直りしたのはなんとベートーヴェンの臨終の場で、フンメルとフンメル夫人が看病したときでした。またベートーヴェンとフンメルは即興演奏でも1、2を争いました。

次号では、フンメルのピアノ演奏やトリルに関する発言をお伝えしたいと思います。

information



「ピアノ・練習方法ガイドブック」
岳本恭治著
1,980円（税込）サーベル社
好評発売中！

◆フンメルの楽曲が
収載されている楽譜

古典派ピアノ小品集 上・下
全音楽譜出版社
各1,430円（税込）
ロナルド・カヴァイエ校訂・解説



岳本 恭治 Kyoji Takemoto

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科及び国立音楽院ピアノ調律科卒業。ロンドン・トリニティカレッジグレード・ディプロマ取得。演奏活動と共にピアノ構造学・改良史・奏法史の研究者としてレクチャー、コンサートを国内外で行う。ムジカノーヴァ誌等に執筆。スロヴァキア国際フンメル協会より「フンメル賞」を受賞。著書「ピアノ大全」、「江戸でピアノを」及び楽譜「フンメル作品集」「フンメル60の練習曲集」「リスト・3つのカンパネッラ」等多数。現在、日本J.N.フンメル協会会長、スロヴァキア国際フンメル協会名誉会員、国立音楽院講師、全日本ピアノ指導者協会（PTNA）正会員。岳本先生ホームページ：http://hummel1778.com/

ピアノレッスンの今後

♪♪♪ Music Key Lesson ♪♪♪ 岩瀬洋子・田村智子

何となく気ぜわしい3月…ピアノ教室にとって生徒たちの動向がとても気になります。

4月から中3になるY君。2年に入ってからから背もぐ〜んと伸び、話す内容もだいぶしっかりし、精神面でも成長してきているのを強く感じます。色々迷いながらも自分で考え結論も出さようになってきました。ただ、まだまだ14歳…不安は一杯。親は当然そんなわが子の心の揺れも分かり、上手にアドバイスをしたいと思っているのですが、そこがなかなか難しい。Y君としては、親の言いたいこと、考えが分かるだけに、なかなか素直に聞き入れられない…そんな親子の心の葛藤がこちらにも伝わってきます。

そんな悶々とした日々が続いていたのですが、昨年暮れのレッスンの時です。「先生〜ぼくね、将来☆になりたい！」（だれにも言わない約束ですので、ここは☆秘密です。）「なるほど〜いいね〜」「うん、だから勉強ももっと頑張らないと…ピアノは好きなんだよね〜でも練習はだんだんできなくなるかも…だから〜発表会はもう卒業する！（実は、前月に終わったばかり）」

とても真面目なY君。大決心の末の「発表会卒業宣言」でした。小さいころからずっと前向きに取り組んできた発表会。こちらも当然、Y君は発表会にはでるもの…とっていました。彼なりにかなり悩んだ末、勇気を持って「宣言」したことで気持ちがすっきりしたようです。そして宣言した日を境に、レッスンの中で変化が表れました。今までは、与えられた課題を不満も言わずこなしてきました。発表会の曲も、こちらが何曲か候補を挙げた中で「これがいいかなあ〜」と、決まった曲をコツコツ仕上げました。そんなY君が、自分から「弾きたい！」と、曲を持ってきました。ベートーベンの「月光」の第一楽章。「この曲、有名だし、なんか、いいよね〜」冬休み中に自分なりに最後まで弾いてきました。その曲が仕上がると、次は「結婚行進曲が弾きたい！」彼が聞きなれていたのは最初の1ページのみ。その後は全く知らなかったようで、新鮮な気持ちで譜読みに取り組んでいます。気づいてみれば、今のY君は以前よ

り、ずっとピアノに向かう時間が長くなったようです。彼を見ていて「長くピアノを楽しみ続けていく」ことの大切さを改めて教えられたような気がします。生徒にとって音楽面・精神面の成長の通過点として「発表会」は意味あるものだと思います。ただそれも個々の生徒や年齢によって変わってくる。そして生徒の「続けたい！」という気持ちが一番大切だと思いました。そしてそれを心地よくサポートしていくのが、私たちの最高の関わり方かな…と今回の「発表会卒業宣言！」は改めて教えてくれたように思います。（*^へ^*）

【岩瀬洋子によるピアノ導入指導講座】
5月からスタートします！（録画受講可）
表参道カワイ：パウゼにて10:30-12:30



《譜読み編》
5/19(木)「導入レッスンに欠かせない譜読み！“基本の3冊”」
6/30(木)「譜読みばっちり大事な9音の目印音を効果的に！」
《リズム・ソルフェージュ編》
9/16(金)「体験型リズム指導！感じるリズムは即効果あり！」
10/28(金)「ソルフェージュ？！何からどう進める？」
《テクニック編》
12/7(水)「楽譜が読めない初心者でもすぐに弾けるテクニック」
1/18(水)「“スケール・アルペジオ・ハノン”を大解剖！」
《実践編》
3/8(水)「あの名曲が弾ける！生徒が楽しく挑戦できる声かけ」
♪ミュージックキーお問合せはmusickey@musickey-piano.com

♪ Piano Lesson 88誌の新コラム『私の街の楽譜屋さん』記事募集！



地域で特色のある楽譜・音楽雑貨販売店様を紹介するコラムをスタートします！
自薦他薦問いませんので、500字程度の記事を募集しております。
お問い合わせは、株式会社ブリマ楽器 Piano Lesson 88編集部まで、お願いいたします。